

現代の神風特攻隊員の死

お国の為と言う美辞麗句により神風特攻隊で多くの若者の命が奪われました。

近畿財務局の職員・赤木俊夫さんも同じ論理により自らでいのちを断ちました。お国の為でなく一権力者によつてです。

この権力者は何から、何まで裏目裏目の政策を挽回しようと、

今、GOTO キャンペーンでアフターコロナの経済を活性化しようとしています。その結果コロナと豪雨災害により日本が減んでいくのが分からないのです。

昔、ダビデ王という周辺国家から恐れられていたイスラエルの名君がいました。しかし、慢心により部下の妻と不倫をして、その発覚を恐れて夫を戦場の最前線に一人で立たせて

自分の手でなく、敵の手により戦死させました。しかし、ダビデは自分の罪を

胡麻化したり、隠したりせず、へりくだって、公に告白し、神と人の前に

悔い改めました。これはそのときの罪の告白の詩です

「神よ 私をあわれんでください。あなたの恵みにしたがって。

私の背きをぬぐい去ってください。あなたの豊かなあわれみによって。

私の咎を 私からすっかり洗い去り 私の罪から 私をきよめてください。

まことに 私は自分の背きを知っています。私の罪は いつも私の目の前にあります。

私はあなたに ただあなたの前に罪ある者です。

私はあなたの目に 悪であることを行いました。ですから あなたが宣告する

とき あなたは正しく さばくとき あなたは清くあられます。

ご覧ください。私は咎あるものとして生まれ 罪ある者として 母は身ごもりました。

確かに あなたは心のうちの真実を喜ばれます。どうか私の心の奥に 知恵を教えてください。※ヒソプで私の罪を除いてください。そうすれば私はきよくなります。私を

洗ってください。そうすれば 私は雪よりも白くなります。楽しみと喜びの声を

聞かせてください。そうすれば あなたが砕かれた骨が喜びます。

御顔を私の罪から隠し 私の咎をすべてぬぐい去ってください。(詩篇 51 篇)

※ヒソプ シソ科の雑草 イスラエル民族がエジプトを脱出するとき、

ヒソプに子羊の血を門柱に塗って神の裁きを免れた。イエスがゴルゴダの丘で

十字架の上に殺される時、末期の水をヒソプにつけ唇をぬらした。ヒソプに塗られた

血は罪の赦しを与えられる。イエス・キリストの十字架に流された血は人間の罪を

取り除いてくださることをあらわしている。